

郷土摂津 いにしえ通信

第98号



平成18年6月1日

発行

摂津市教育委員会 生涯学習部

生涯学習スポーツ課

〒566 - 8555 摂津市三島一丁目1 - 1

(06)6383 - 1111 (072)638 - 0007

ホームページアドレス

<http://www.city.settsu.osaka.jp/>



ふるさとの川「淀川」

～川は流れる悠久の歴史の中で～

人類が出現する以前の原始・古代・

中近世から現代まで時代別に淀川

と摂津市の関わりに迫ります。

第15回

明治中期の洪水 明治18年、淀川沿岸は未曾有の大洪水に襲われました。梅雨の長雨のため、6月17日、北河内郡の三矢村および伊加賀村（現在、枚方市域）の淀川左岸堤防が決壊し、茨田・東成の両郡から大阪市内にかけての大洪水となりました。しかも、ようやく水が引きはじめた6月28日、またもや豪雨となり、7月3日まで降り続けました。そのため伊加賀の決所から流入した濁水は、寝屋川を越えて、現在の東大阪市から大阪市平野区に及びました。茨田郡では水深が5.5メートルに達し、大阪市中の橋もほとんど流失しました。中ノ島付近でも浸水は軒下15センチに達しました。被害区域997町村、1万5269町歩余、被害戸数7万1249戸、流失家屋1631、被災者数27万6049人、死者・行方不明78人、今日にいたるまで最大の洪水です。

被害の大きかったのは淀川左岸でありましたが、右岸においても、前島村（現在、高槻市域）の桧尾川堤防が決壊し、淀川の水が逆流しました。上牧・井尻（現在、高槻市域）では軒先も没するほどの大洪水となり、郡長が自ら防御と救助に当たりました。しかし、再度の出水によって、たちまち決壊し、高槻から吹田にいたる鉄道の南側は、湖のごとくとなってしまいました。

明治21年8月31日には、台風のため多数の倒壊家屋がでました。翌22年8月19日の台風では、淀川本流・支流の堤防16カ所、437間（約794メートル）が決壊しました。さらに9月11日の暴風雨が追いつちをかけました。五領村（現在、高槻市域）では、600余戸が床上の浸水をうけ、60日余も水が引かせませんでした。そのため、生活の道を失い、一時は政府の保護をうける者が1800人に及んだといえます。

三箇牧村（現在、高槻市域）では、西面と柱本の間にある犬の躰をはさんで、両方の農民が対立しました。芥川の決壊によって流水した水は、犬の躰を越えて西面から柱本に流水していましたが、8月25日、柱本の農民は、自村の退水を早めるために躰の切れ口を塞いで、西面からの水の流下を防ごうとしました。西面の農民は耐水を妨げるものだとして反対し、鍬や鋤を手に集まりました。一方、柱本と利害を同じくする鳥飼村の農民も駆けつけ、700余名にも達しました。一時は、三箇牧村助役浜時三郎が頭上に鳶口を打ちこまれるなど、険悪な様相を呈し、茨木警察署が出動して8名の拘束者がでましたが、両村長をの説得もあり、大事にはいたりませんでした。

明治29年7月21日、豪雨のために淀川が増水し、各地で堤防が決壊しました。8月末、ふたたび豪雨となり、断続的に降り続けました。9月11日には、ついに鳥飼村の淀川堤防、味生村大字別府の安威川堤防、味舌村大字味舌下および三宅村大字鶴野の安威川堤防が決壊し、付近一帯を水没させました。

（裏面へつづく）

このような、度重なる洪水は、村々を疲弊させることとなります。とくに、明治14年に大蔵卿となった松方正義の緊縮政策の打撃を受けてからは、いっそう深刻になりました。18年の淀川大洪水のときには、経済界の不況で農作物の価格が下落していたうえに、あまりにも大きな被害を受けたため、小作人は小作料を払えず、地主もまた地租を払えず延納を願い出る者が続出しました。この時期における農民の没落は著しいものがありました。23年5月、大阪府知事の命を受けて、島上・島下郡役所部内を巡視した三人の官僚は、村民の惨状を次のように伝えています。

「米食を為す者としては極めて少く、大抵は雑草と麦とを混じて食し居り、其食用に充つる草の種類は7、8種もありて、路傍にあるもの杯(など)は已(すで)に採り尽したる程なるが、是とても一日に一回の食事を為す位の者多く、中には今より十日間も捨置くなれば、全く餓死するに至らんかと思はるるものあり。」

(摂津市史より)

平成18年度文化財啓発事業

ふるさと摂津講座

摂津市とゆかりのあるテーマを選択し、古代からちょっと昔まで、摂津市の歴史を楽しく学習する講座です。

期間：平成18年6月14日(水)から

平成19年3月14日(水)まで

時間：午後2時から4時まで

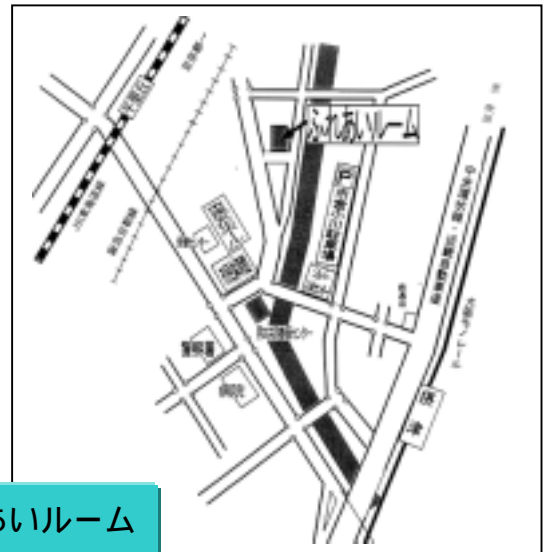
会場：ふれあいルーム第1・第3・第4会議室

住所 昭和園 2-27 TEL 072-635-1404

定員：60名

講師：ふるさと摂津案内人

受講料無料



ふれあいルーム

開催日	内容	講師
6月14日(水) 会場：第1	雨乞いと田の虫送り	林 健三氏
	摂津と若衆	神谷 令美氏
7月19日(水) 会場：第3	淀川筋の治水	高上 慶美氏
9月20日(水) 会場：第3	淀川を遡った2つの棺	木村 一豊氏 川本 光子氏
	蓮如と西本願寺	田中 猛氏
10月18日(水) 会場：第3	弾丸列車	紅田 敏雄氏
	蕪村と淀川パート2	古谷 邦雄氏
11月15日(水) 会場：第3	正雀今昔	範國 忠士氏
	味舌とむしろ	衣川 明子氏
	今でも残る年中行事	大津 美代氏
1月17日(水) 会場：第4	かも猟と摂津	横田 正明氏
	淀川筋の川船	奥田 進氏
2月21日(水) 会場：第4	摂津市域の川	陳 活雄氏
	韓流ブームと渡来人	西田 博氏
3月14日(水)	未定	平成18年度ふるさと摂津案内人養成講座修了生

全8回

受講に際しては、申込みは必要ありません。各回とも直接会場へご来場ください。

ふるさと摂津案内人は、文化財からふるさとの歴史を学習し、後世の人々に伝えていく市民によるボランティアグループです